

日本禁煙科学会 学会賞



大熊 由紀子氏

【受賞理由】

ジャーナリストとして禁煙をリードした功績

【経歴】

東京大学教養学科で科学史・科学哲学を専攻。

1979年 朝日新聞科学部次長

1984年 論説委員（同社100年の歴史で女性初の論説委員）

2001年 大阪大学大学院人間科学研究科教授（ソーシャルサービス論）

2004年 国際医療福祉大学大学院教授（医療福祉ジャーナリズム分野）

2001年から、福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネットの志の縁結び係&小間使い。17カ国、6000人の読者をもつメルマガを発信。「タバコの部屋」など数多くの部屋をもつホームページ <http://www.yuki-enishi.com/>でも発信。

『「寝たきり老人」のいる国いない国』（ぶどう社）は30刷のベストセラーとなり、第1章は介護保険制度のメニューに。タバコ問題に取り組む人々にも触れた『恋するようにボランティアを～優しき挑戦者たち』『福祉が変わる医療が変わる』（ぶどう社）、『物語・介護保険』『ケアという思想』（岩波書店）、『患者の声を医療に生かす』（医学書院）など著書も多数。

他に、佛教大学社会福祉学部客員教授、日本福祉大学客員教授、国立大学法人筑波技術大学理事、介護対策検討会委員、医療審議会委員、国民生活審議会委員、全国ボランティア活動振興センター運営委員、公衆衛生審議会委員、中央社会福祉審議会、障害者の欠格条項をなくす会共同代表、千葉県21世紀健康福祉戦略検討委員会座長、千葉県健康福祉政策担当参与、滋賀県高齢化対策委員会会長、日本社会福祉士会理事、共用品推進機構理事などを歴任。